

授業科目名 (英文名)	地域産業論 (経済学部・専門教育科目) (Regional Industries)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	井上 智之	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>地域産業は、グローバル化・人口減少下において大きく変容している。本講義では、こうした状況下において、地域と産業との関わりについて、とくに地域内で産業が果たしている役割や産業が抱える課題などについて、理論・政策的視点、統計・事例分析等から実態の解明に務め、課題解決策を考えることを目的とする。本講義の到達目標は、次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 統計資料等を用いて地域産業の構造等を把握できる。 2) 地域産業に関わる政策を説明できる。 3) 地域産業の課題を見出し、課題解決に向けた提案を行える。 		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義は、概ね次の4部で構成する。 (1) 地域産業を概観する、(2) 地域・都市政策を知る、(3) 地域産業の現状と課題を知る、(4) 地域産業の課題解決策を考える。 本講義中に地域産業の現場を訪問することが困難であるため、インターネット、調査レポート、新聞、雑誌記事等により、情報収集をしながら地域産業の実態の解明に努めたい。本講義はPC教室で開講し、国が公表している産業に関わる統計等を用いた分析(演習)を行う予定である。</p> <p>授業計画 1-2.本講義の目的と進め方 (1) 地域産業を概観する 3-6.統計資料を用いて地域産業の基本情報を知る(「経済センサス」「国勢調査」など) 7-8.RESAS地域経済分析システムによる地域産業構造の把握 9-10.受講生によるプレゼンテーション (2) 地域・都市政策を知る 11-12.地域産業に関わる政策を知る(産業立地政策、都市計画など) (3) 地域産業の現状と課題を知る 13-16.工業 工業の立地動向、新技術・新製品開発の動向、海外との関係、企業誘致、住工混在、工業活性化の取り組み(支援制度)など 17-20.商業 商業(大規模店舗・コンビニエンスストア等)の立地動向、商店街の衰退、ネットショップの台頭、商業活性化の取り組み(支援制度)など 21-24.その他の産業及び産業分野横断的な課題 ソーシャルビジネス、起業、事業承継と廃業、産業人材の確保と育成など (4) 地域産業の課題解決策を考える 25-28.地域産業活性化策の事例調査 29-30.受講生によるプレゼンテーション 上記の構成と標題は、受講生の理解度、習熟度に応じて若干変更する場合がある。詳しくは1回目の授業で確認されたい。</p>		
テキスト	使用しない。		
参考文献	必要に応じて指示する。		
成績評価の基準・方法	<p>評価の基準 上記、到達目標に記載した1)~3)にかかる能力を身につけた者に単位を授与する。能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>評価の方法 レポート(30%)、プレゼンテーション(20%)、学期末筆記試験(50%)</p>		

履修上の注意・履修要件	<p>(1)教室定員を超える場合は履修を制限することがある。</p> <p>(2)初回授業（10月4日）で出席状況を確認する。</p> <p>(3)第1回授業終了後に抽選となった場合は、第1回の出席状況を考慮する。（抽選となって選外となった場合は学務課まで相談）</p> <p>(4)地域産業の課題解決策を考えるに際して、受講生による意見交換、プレゼンテーション、及び課題（レポート）の提出を予定している。</p>
実践的教育	該当しない
備考	<p>担当教員は、地域産業の実態把握や活性化支援に長年携わってきた。社会や経済が大きく変化するなかで、地域産業が直面する課題や解決策も常に変化する。本講義では、受講生とともに、いま必要とされる地域産業の課題解決策、活性化策について議論したいと考えている。こうした問題に関心がある学生に是非受講していただきたい。</p>